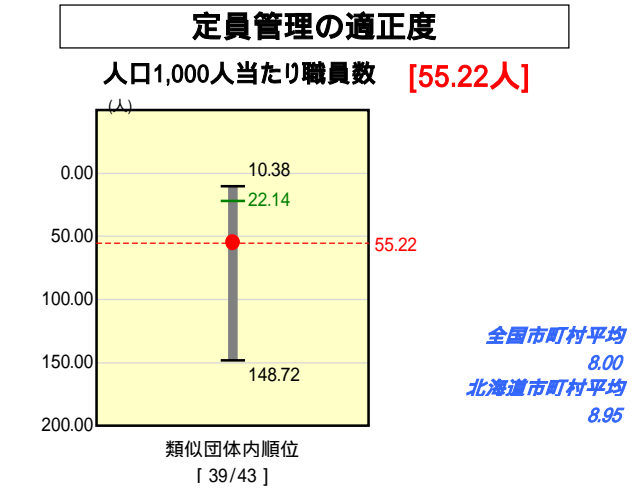
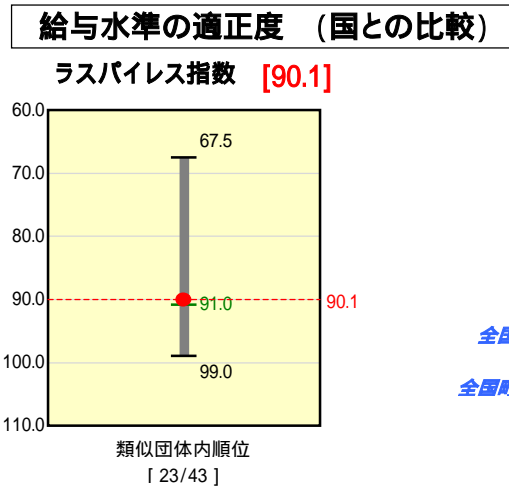
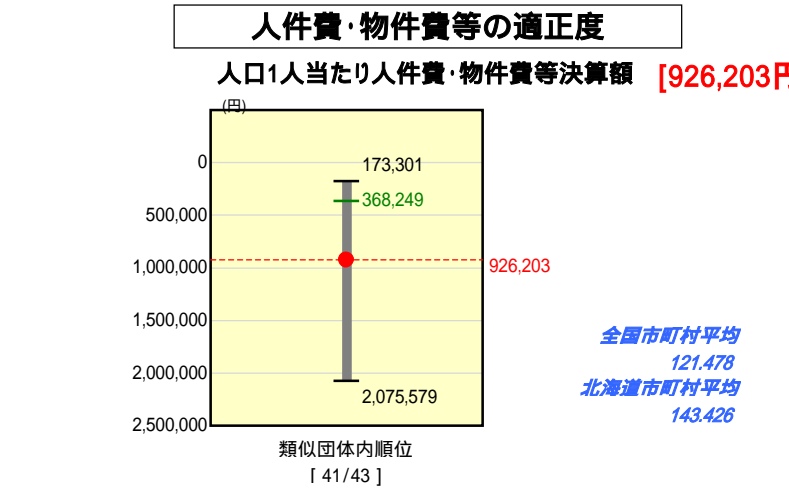
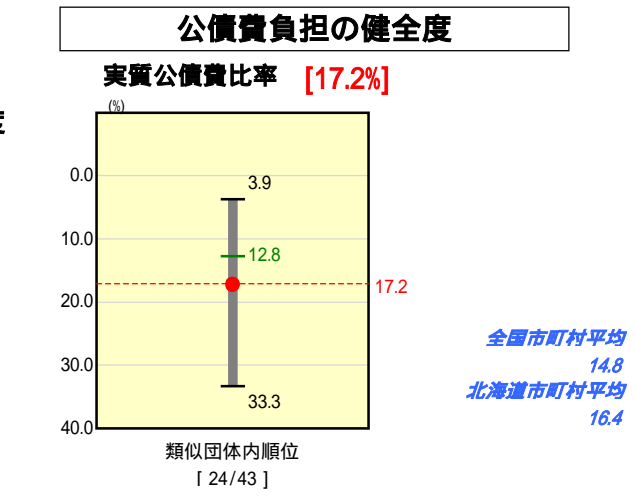
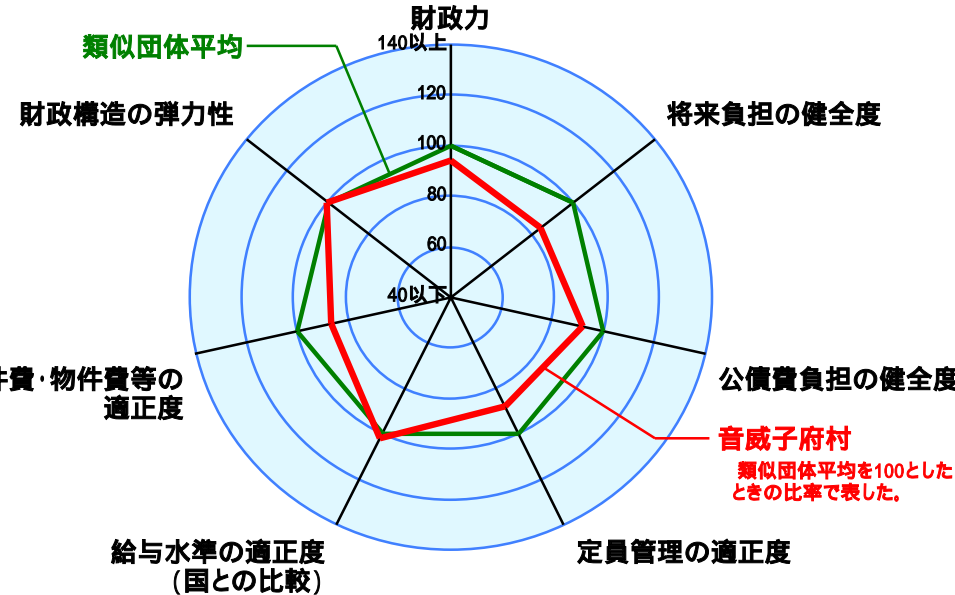
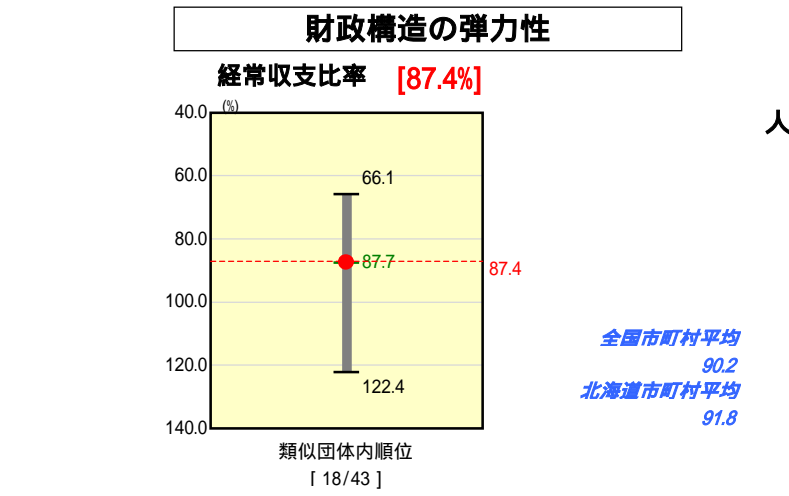
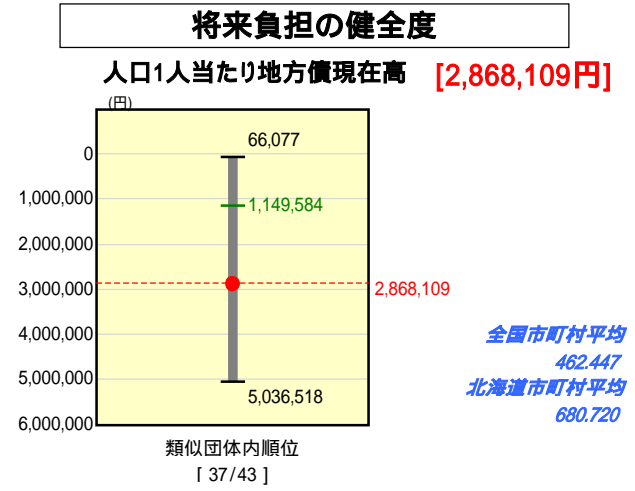
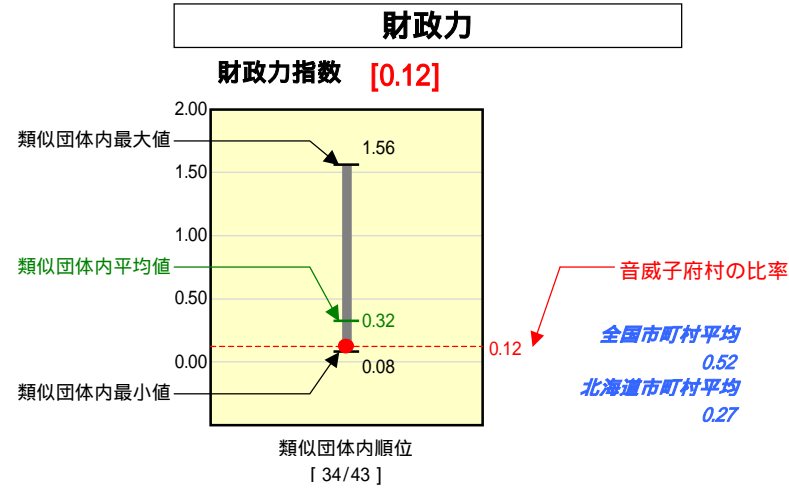


市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

北海道 音威子府村

人口	996	人(H18.3.31現在)
面積	275.64	km ²
歳入総額	1,912,081	千円
歳出総額	1,895,141	千円
実質収支	16,940	千円



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数～人口の減少や村内に中心となる産業がないこと等により、財政基盤が弱く類似団体平均をかなり下回っている。この間組織見直し(5課制から3課制)やH17年度作成の「自律プラン」に基づく給与の削減、退職不補充、各種団体への補助金削減、公共料金の値上げ等により歳出の削減と行政の効率化に努めることにより財政の健全化を図る。

経常収支比率～類似団体の平均値を下回っているものの、年々悪化してきている。人件費にかかる比率も4.0%により近づき新規採用者の抑制や給与削減等により人件費の抑制を図り行政改革の取り組みを通じ義務的経費の削減に努めていく。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額～人件費、物件費及び維持補修費の合計額の人口1人当たりの金額が類似団体平均を上回るのは人件費及び物件費が主な要因となっている。これは、村立高等学校の運営を行っているためである。今後も運営の効率化を目指し経費削減に図っていく方針である。

人口一人当たり地方債現在高～類似団体平均を上回っている主な要因としては平成11年度に実施した診療所改築事業(総事業費5億円、うち起債4億8千万)等であるが、新規地方債の発行抑制等により水準を下げるよう努める。

実質公債費比率～普通建設事業費に係る起債の償還等に伴い上昇し、類似団体平均をやや上回っている。平成17年度以降大規模な事業計画は行っておらず、事業計画の縮小を図り類似団体の水準を目指すよう努める。

人口1,000人当たり職員数～村立高等学校を設置(教職員数16名)していることから類似団体を大きく上回っているが、行政改革(自律プラン)に基づく定年等退職者の不補充等により、平成13年度から平成17年度末までに11人の減となっており、今後も定員の適正化に努める。

ラスバイレス指数～前年より9ポイント下がり、ほぼ類似団体平均の水準にある。平成17年度から行っている「自律プラン」により、勤奨退職や新規職員採用の抑制、さらには給与の9%削減、特殊勤務手当の見直し等によるものである。今後も給与・各種手当の見直し等を実施し一層の適正化に努める。